

## 第三者評価結果

### ①第三者評価機関名

株式会社 寺井潔ソーシャルワーカー事務所

### ②施設・事業所情報

名称： 社会福祉法人 石龍会 のとじま悠々ホーム	種別： 特別養護老人ホーム
代表者氏名： 理事長 佐原 博之	定員（利用人数）：60人（特養57人/ショート3人）
所在地： 石川県七尾市能登島半浦町5部6番地2	
TEL： (0767) 85-2571	ホームページ： <a href="https://saharagroup.jp/">https://saharagroup.jp/</a>

#### 【施設・事業所の概要】

開設年月日	平成17年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）	社会福祉法人 石龍会		
職員数	常勤職員： 43 名	非常勤職員： 5 名	
専門職員	生活相談員 1 名		名
	看護職員 4 名		1 名
	介護職員 29 名		3 名
	管理栄養士 2 名		名
	機能訓練指導員 1 名		名
	介護支援専門員 1 名		名
施設・設備 の概要	(居室数) ユニット型個室 60室	(設備等)	

### ③理念・基本方針

法人理念：「人と人 心と心を 礎に」

私たちは、人と人とのつながり、心と心をつながりを大切にして、人として心から御利用いただいている方々やその御家族と接することを基本的な考え（礎：いしずえ）として業務に当たることを基本理念としています。

基本方針：「3つの徹底」

- ・丁寧語の徹底（方言・私語・大声は厳禁、表情・態度も丁寧に）
- ・挨拶の徹底（自分から笑顔でハッキリと、挨拶は相手の顔をみて）
- ・報連相の徹底（素早く、簡潔、明瞭に、報告は結論から）

### ④施設・事業所の特徴的な取組

#### 【事業所の特徴】

施設では法人の理念基本方針に沿って、入居者様一人一人の意思及び人格を尊重し、施設サービス計画に基づき、その方にとって「居心地の良い場所」となるよう、意思や生活リズムを尊重したケアを提供しています。また、科学的介護にも力を入れており、全室に「見守り支援システム（眠りスキャン）」を導入し心身ともに安定した生活がおくれるように努めています。

#### 【石龍会全体の取組】

2009年6月に「ISO9001（品質マネジメントシステム）」の認証を取得、継続しています。2018年4月に「いしかわ魅力ある福祉職場」に認定され、現在も継続認定を受けています。人材の確保や育成、職場改善に取り組み、職員が安心して働ける環境を整えることによって、よりよいサービス提供が行えるよう努めています。また、2018年12月には「平成30年度石川ワークライフバランス企業」の優良企業賞を受賞しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年11月1日（契約日）～ 令和5年2月7日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	4回（令和元年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

共通評価

- 中長期目標展開表の到達水準には、「全介護職員は介護福祉士及び実務者研修者100%を継続」や「外国人技能実習生受け入れ拡大：22年5名、23年7名、24年10名」など、測定可能な数値目標を用いて実施状況が評価できるものとなっている。単年度の計画は「中長期目標展開表」に基づき、より具体的な内容が盛り込まれ、中長期計画と連動した単年度計画を策定している。
- 施設の財務について、税理士より監査支援を受けている。また、令和2年度に、監査法人に依頼し、公認会計士による外部監査を実施している。令和2年6月20日付けの「監査報告書」にて確認できる。
- 利用者満足の向上のために、毎年満足度調査を実施している。調査方法は郵送・手渡しその他、用紙に記載されたQRコードを通してWEBでの回答も受けている。調査は10の項目プラス自由記載欄が設けられており、集計結果は機関誌やホームページを通じて公表されている。また、利用者からの直接の要望や意見については集計したものをリーダー会議で検討して具体的な改善につなげている。
- 今年度事業計画の重点事業の中に「地域福祉活動の推進」が挙げられている。コロナ禍ではあるが、地域の祭りの時には神輿がホームまで来てくれて利用者を楽しませてくれたり、リンゴ狩りに出かけたり地域との交流を行っている。ホームで整備している果樹園（のとしま悠々公園）を、今後一般開放して地域の人たちが自由に利用できるように計画・整備しているところである。

#### 内容評価

- 「虐待防止・身体拘束廃止委員会」が月1回2つの法人の担当者が参加して実施され、職員の理解を図るととも権利侵害防止と早期発見に取り組んでいる。委員会では、「虐待の芽チェックリスト」を集計し、考察し、職員へ周知している。
- 食事中の事故対応方法は、「誤嚥 緊急時対応マニュアル」が作成され、「スキルチェックシート」で確認・徹底している。また、入居者の食事量や水分量などは、「24時間シートのケース記録」に記録されているなど、「スキルチェックシート」と「24時間シート」を活用して介護サービスの質の向上に努めている。
- 入居者の異常に早く気付くための工夫として、介護ロボットの「眠りスキャン」を2021年度より導入している。ベッド上での睡眠、呼吸心拍数が把握でき、体調変化に早期に気づくことができる。
- コロナ禍であり、アクリル板越しの面会であり、耳の遠い方は聞こえ辛い状況があった。「直接声を聞きたい」という要望もあり、スピーカーを設置した。すると、声がいっしょに聞こえるようになり、直接触れ合うことはできないが本人・家族ともに喜んでいる。
- 職員に、年一回スキルチェックシートを用いて、自らの介護技術について自己評価を行う取り組みに加え、昨年より、オンライン動画研修を取り入れるなど、現状に満足する事なく、更なるサービスの質の向上に努めている。
- リスクマネジメントの一環として、ヒヤリハット報告と事故報告を分けるのではなく、起こった事象全てに対して、事故報告として記載することを統一し、より危険に対する感度を高く保てるよう取り組みを行い、再発防止や安全な環境整備に努めている。

#### ◇改善を求められる点

- 苦情の体制は整備されていて、ポスター掲示や重要事項への記載により利用者へ周知・説明しているが、重要事項には第三者委員の記載が見られない。コロナ禍により施設内への立ち入りが出来ないため、より架電等による申し立てへの配慮が望まれる。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

「人と人心と心を礎に」  
法人理念の下、常に介護サービスの質の向上を目指し、地域共生社会づくりに貢献するものと、日々活動してまいります。

今回、評価をいただいた点については、施設の強みとしてさらに磨きをかけ、良質で安心・安全な福祉サービスの提供を継続して行きます。改善を求められる点については、利用者のご意見等述べやすい体制を機能させ、コロナ禍においても架電等での申し立てが出来るよう検討いたします。ご指導ありがとうございました。

#### ⑧評価細目の第三者評価結果（別添）